

2022年1月4日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー
代表取締役社長 柘植 一郎

【2022年 年頭所感】 技術と技(わざ)を未来のために

新しい年を迎え皆様にご挨拶を申し上げます。

2021年、CTCは、社会的な責任を果たして企業として更に成長するために、「ITを通じた社会課題の解決」、「明日を支える人材の創出」、「責任ある企業活動の実行」の3つの課題を柱として、マテリアリティ(重要課題)を特定し直しました。また、企業理念と新しいマテリアリティを前提に、2021～2023年度を計画期間とする3ヶ年中期経営計画「Beyond the Horizons ～その先の未来へ～」を策定し、CTCグループ全体の更なる成長を図ってきました。

2022年、CTCの様々な取り組みの中でも中心となるのは引き続き「DC5」、すなわち、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」、「クラウド(Cloud)」、「5G」です。「DX」については、利用者の視点に立ったITサービスを追求することが重要で、実質としてはこれから成熟してくる分野でしょう。クラウドは、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドなどが普及してきており、CTCが強みとするシステム間の連携といった技術が一層重要な位置を占めてきています。また、既に6Gの話も出てきていますが、ローカル5GやIoT、デジタルツインでの活用を筆頭に5Gはますます進化していくでしょう。

CTCは、DX支援や共創ビジネスの拡大を主軸とした「Accelerate」、5Gやクラウドビジネスの拡大を目指した「Expand」、人材育成や経営基盤の変革を意図した「Upgrade」という中期経営計画の基本方針のもとで更なる持続的な成長に臨みます。

新型コロナウイルス感染症について引き続き警戒しなければならない状況の中、社会は様々な困難に直面しています。気候変動や社会的格差の拡大、国内での少子高齢化、デジタル・ディバイドなどです。プラス面でもマイナス面でもITが及ぼす影響は大きく、IT企業として世界や社会を俯瞰する姿勢があらためて求められていると感じています。CTCグループも社会に貢献する意識を堅持し社業に取り組んでいきます。

CTCは4月に創立50周年を迎えます。50年間支えて下さった皆様に感謝しつつCTCの誇りを再認識して、技術と技(わざ)で社会とともに成長する明るい未来を描く。そのような年にしていきます。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 広報部

Tel: 03-6403-6040 / E-Mail: press@ctc-g.co.jp